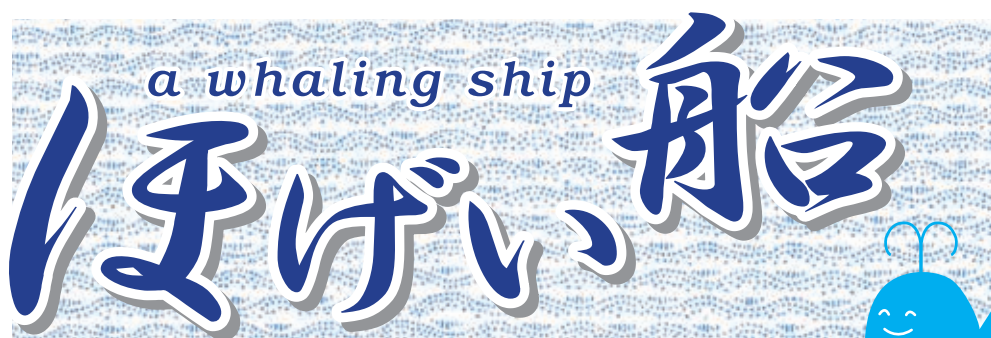




基本理念
私達は心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院とします。
国立病院機構高知病院
独立行政法人

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●先山正二／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

紹介受診重点医療機関 としての道を選びました

—病院の理念を忘れずに、より良い医療を提供します—



NHO 高知病院 院長
先山 正二

9月下旬になり新型コロナに関しては5類に移行した以降最初の流行のピークは過ぎたようですが、インフルエンザの従前と比べ時期の早い流行など、まだまだ油断は禁物です。という私も最近コロナにかかってしまいました。重症度分類のうえでは“軽症”で済みましたが、筋肉痛、倦怠感、発熱、咽頭痛と、これはかからない方が良くつくづく思いました。

さて、この度、当院は献血運動の推進に関し、積極的に協力し他の模範となる活動を行なった功績により、令和5年度献血運動推進協力団体等に対する厚生労働大臣感謝状の贈呈を受けました。その伝達式が2023年9月7日高知県庁で行われ、私が当院および当院附属看護学校を代表して感謝状を頂いて来ました。受賞理由は昭和45年以来、今日に至るまで献血の場を提供するとともに、多くの職員並びに看護学生が献血に協力した功績によるものです。

その際、当院の関係者の多くがボランティアとして協力して来たことがこのような形で評価していただいたことを、当院・当校の関係者を代表してお礼を申し上げるとともに、医療機関である当院は、日本赤十字社の365日、24時間の血液供給事業・体制により助けられており、この体制無くしては、治療や手術が安心して行えず、改めて大変

感謝している旨を伝えさせていただきました。

また、当院は8月に高知県より「紹介受診重点医療機関」の承認を受けました。地域における「かかりつけ医機能を担う」医療機関との連携と役割分担により、今後、地域において当院が担うべき医療、当院に期待される医療をこれまで以上に効果的・効率的に提供するためです。基本的には当院の急性期一般診療、2次救急医療、結核や重度心身障害者医療などのセーフティネット医療を中心とする診療体制は変わりません。救急は別として、当院初診時に紹介状のない場合には、保険診療の自己負担の他に初診時選定療費の負担を頂いていますので、紹介状による紹介受診をお勧めしています。

今後ますます、地域医療における医療、介護、福祉における様々なニーズに応じた、より良質なサービスを地域において提供するには、医療・介護・障害福祉施設間の適時・適切な関係がますます重要になってくるものと思われま

す。“私たちは心のこもった医療を行い、地域に信頼される病院をめざします。”という当院の掲げている理念を、これからも職員一同でしっかりと理解・共有し、より良い形で実現して行きたいと思ひます。今後とも当院へのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新任医師紹介



麻酔科
五十嵐 想

9月1日付けで高知大学から異動になりました麻酔科の五十嵐と申します。高知大学出身で、これまで高知県内で勤務してきました。NHO 高知病院は初めての勤務地で、まだまだ慣れないことも多いですが、周りのスタッフの方々に助けら

れて日々を過ごしています。手術室で働くチームの一員として安全で質の高い周術期管理ができるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師紹介



麻酔科
藤吉 佑樹

高知大学医学部附属病院から来ました、麻酔科3年目の藤吉佑樹です。8月より手術室で勤務することになりました。NHO 高知病院には何かと縁があり、学生実習や初期研修で大変お世話になりました。あの頃ご指導頂いた先生方、お世話になったスタッフの皆様と一緒に働く事ができ、大変うれしく思います。

高知に1番長く住んでいますが、広島、長崎、大阪に住んでいた事もあります。身体を動かす事が好きで、休日はバスケットやランニングなどをしています。ご迷惑をかける事もあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう全力を尽くして参りますので何卒宜しくお願い致します。

職員の異動

採用		
▶ R5.8.1		
麻酔科医師	藤吉 佑樹	統括診療部
▶ R5.9.1		
麻酔科医師	五十嵐 想	統括診療部
▶ R5.10.1		
リハビリテーション科医師	川真田 純	統括診療部
皮膚科専攻医	加瀬 美咲	統括診療部

退職・転出等		
▶ R5.7.30		
看護師	和田 紘幸	外来
▶ R5.7.31		
看護師	小川 百代	NICU
看護師	田中 利佳	3階南病棟
看護師	小松 愛美	4階北病棟
▶ R5.9.26		
助産師	亀井 菜月	4階南病棟
▶ R5.9.30		
リハビリテーション科医師	合田有一郎	統括診療部
臨床検査技師	田丸 香花	臨床検査科

医 長		
▶ R5.5.1		
耳鼻咽喉科医長	福田 潤弥	統括診療部
▶ R5.7.1		
皮膚科医長	石元 達士	統括診療部
▶ R5.9.1		
麻酔科医長	島津 朱美	統括診療部



診療科紹介（臨床検査科：病理）



臨床検査科長（病理専門医） 成瀬 桂史

概要

通常、検査室はその業務から検体系、細菌、生理と内分されますが、その一つに病理検査が含まれます。高次機能病院では病院病理部もしくは病理診断科として分離されることも多いのですが、当院では検査技師の機動性を確保するため、臨床検査科に含んでいます。

新病院の開院（平成12年10月）を期に、高知

大学医学部病理病態学教室から病理医が派遣され、臨床検査科科長を兼務すると同時に組織診断を行い、細胞診は複数の細胞検査士を含む検査技師4人体制で業務を行っています。

さらに高い診断精度を確保するため、高知大学病理学教室から歴代の教授を週1回非常勤として招聘させていただいています。

業務内容

生検や手術で得られた組織や細胞に対して病理診断、細胞診診断を行っています。さらに詳細で高度な病理診断を行うため、一般病院としては必要十分な免疫組織学的病理診断を行っています。

また手術中に術式を決定するために凍結検体による迅速病理診断を行うことがあります。その迅速性を確保するため、当院では予約がなくても受注しております。年間230件以上の迅速病理診断を行っています。同規模病院としてはかなり多いものとなっています。

また当院は地域医療に貢献するため、高知市では当院のみが院外からの病理組織診、細胞診の依頼に対応しております。

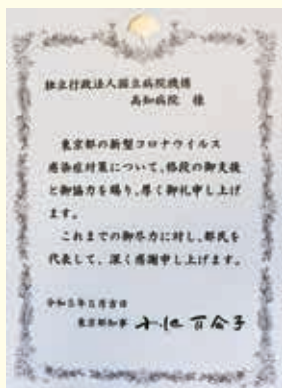
一方、不幸にして入院患者が死亡された際、その確定診断や病態等を検索し、今後のよりよい医療、

当病院の医療レベルの向上に寄与するため、臨床医からの依頼により病理解剖を行っております。病理解剖の結果は、臨床病理カンファレンス（CPC）を主催することにより、臨床側に情報を提供し、ディスカッションを行っています。

近年、個別医療のめざましい進歩があり、その中でも具体的には肺癌、乳癌、大腸癌などにおいて、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、さらには抗癌剤の使用の適否を決める遺伝子解析など、数ヶ月単位で新しい診断／治療法が開発されています。その多くは病理組織を使用したコンパニオン診断検査が重要であり、最新の診断法、治療法に対応していく日々、努力しております。

感謝状

- 東京都からコロナ対応の看護師派遣についての感謝状を頂きました



- 献血活動への当院の貢献に感謝状を頂きました

国立病院機構高知病院 看護師特定行為研修

1期生の修了、 そして、2期生の開講へ



特定行為研修責任者
森山 万智

当院は、厚生労働大臣が指定する研修機関となっています。令和4年度より開講し、働きながらの研修に取り組んだ1期生2名が令和5年6月に修了式を迎えることができました。院内に当院研修機関からの初の修了者が誕生です。研修を修了した特定行為看護師は、医師の手順書により一定の医療行為（診療の補助）を実施します。研修修了後も更に鍛錬を積み、患者さんに寄り添い、より安全で、タイムリーかつ迅速な対応ができる特定行為看護師を目指して活動しています。

現在、院内で活動している特定行為看護師は、創部・腹腔・胸腔ドレーンの抜去、胃ろうボタンの交換、膀胱ろうカテーテルの交換を実施しております。対象となる患者さんへは、事前にご説明の上、実施させていただいています。外来患者さんからは「処置を特定行為看護師に実施してもらえから、診察までの待ち時間が減った」、主治医からは「処置に要していた時間を診療や重症患者対応の時間に活用できるようになった」などの声をいただいています。

そして、令和5年7月には、2期生の開講式を開催いたしました。今年度は、ドレーン関連コース3名、呼吸器関連コース2名の5名が、配属部署の業務



1期生修了式

と両立しながら、9ヵ月に渡っての研修を受講しています。現在、共通科目（全ての特定行為に共通する知識と技術の向上を図る科目）について、院内の指導者（医師、看護師、薬剤師等）からの支援や指導を受け、eラーニングを活用した講義や演習・実習といった研修を進めています。今後は、区分科目（ドレーン関連・呼吸器関連コース毎にスキル向上を図る科目）を履修し、所定の特定行為について臨床実習を経験していきます。各5症例数以上の実習をした後、筆記試験の合格で修了認定となります。

就業しながらの学習には苦労もあるようですが、受講生同士で指導者からのアドバイスをディスカッションしあい、様々な情報を交換しあうなど、まるで一つのチームとして躍動しています。今後の活躍が期待されます。



2期生開講式

ATP拭き取り検査法を用いた 環境清浄化への取り組み

感染管理室 宗崎 梓



病院内において、環境清掃は手指衛生とならんで欠かせない感染対策です。感染管理室では、ポータブル式ルミノメーターを用いて病室やスタッフステーションの環境清拭の評価を行っています。ルミノメーターは血液、体液、排泄物、微生物などの汚れの量をはかることができ、環境清拭後に検査することで清拭の効果を数値で知ることができます。環境清拭は、拭き方や力加減などで拭き残しに差がでます。清拭後の汚れがどのくらい残っているのかを、継続的にルミノメーターで検査し病棟へフィードバックや介入をすることで、効果的な環境清拭に繋がるよう取り組んできました。

今回、「重症心身障害児(者)病棟におけるATP拭き取り検査法を用いた環境清浄化への取り組み」のテーマで、第19回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会で口演発表をしました。看護研究としてまとめることで改めて振り返ることができ、病棟への介入方法やタイミングなどの改善点について気付くことが出来ました。

今後の課題として、ルミノメーターでの検査を活用し環境清拭に対するスタッフへの意識付けや、効果的な環境清掃ができているかの実施状況の確認を継続していきたいと思います。汚染の少ない環境を保つことで、医療従事者の手指の汚染を軽減し感染症の伝播予防に取り組んでいきたいと思っています。



第117回高知県整形外科 集談会の奨励賞受賞

リハビリテーション科 作業療法士 吉村 大輔



この度は、7月に高知城ホールで開催されました、第117回高知県整形外科集談会に参加させて頂きました。高知県の整形外科医を中心とした学術集会であり、各種整形疾患に関する研究報告、ディスカッションがなされ、緊張感のある中、大変多くの学びがありました。私自身、本学会では「関節鏡下腱板断裂手術後の患者立脚型評価における臨床的有益性の最小変化量(MCID)について」というテーマで報告させて頂き、恐縮なが

ら奨励賞に選出頂きました。リハビリテーション職の立場ではありますが、列席された先生方にご評価いただいた事は幸いであり、大変実りのある学会参加となりました。受賞にあたり、日頃よりご指導頂いております、福田昇司副院長をはじめ、当科スタッフ、整形外科病棟スタッフ、関連部署の皆様には感謝申し上げます。当科では福田副院長主導の下、肩関節疾患を主体とした研究活動を継続しており、今後も研鑽を重ねていきたいと思っています。



令和5年度 ふれあい看護体験



副看護部長
福重 真紀

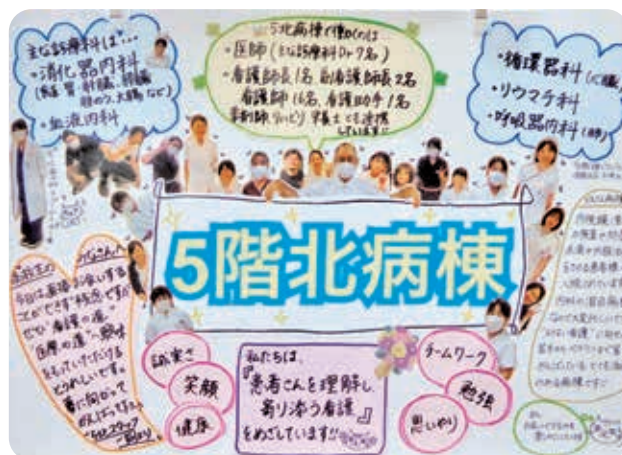
新型コロナウイルス感染症が5類となり、令和5年8月8日「ふれあい看護体験」を4年ぶりに開催しました。今年は県内6校から7名の高校生が参加しました。新型コロナウイルス感染症がまだまだ蔓延しているため、皆さんが体調を崩さず参加していただけるのか心配しましたが、元気な顔を見て安心しました。まずは看護師ユニフォームに着替え、午前中は看護部長からの病院概要の説明、感染対策について講義と実践で学びました。手洗いの実践



では、洗い残しの多さに皆が驚いていました。実際に目で見ることで、手指衛生の重要性を認識で

きたと思います。看護体験は感染防止対策のため、病棟での体験ではなく総合案内で患者さんを案内するグループ、お互いにストレッチャーや車いすに乘ったり押したり、バイタルサインの測定、蘇生術を学ぶグループ、沐浴を体験するグループ等に分かれ、ローテーションしながら和気あいあいと過ごしました。昼休憩では昨年度実施した院内災害訓練の映像を観ました。

午後からは院内探検です。病棟や薬剤部、臨床検査科、リハビリテーション科、診療放射線科等を入口まで訪問し、それぞれの部署の特色がよく分かるよう、各病棟ウェルカムペーパーでアピールしました。部署ごとに工夫しスタッフみんなで作ったウェルカムペーパーは、ウェルカムな気持ちを表現しており、高校生から大絶賛でした。最後に実施した就



職2年目の助産師・看護師からの体験談は、今後の進路に大いに役立つ内容となりました。学生一人ひとりの感想では、「病院は怖いところだと思ったが、みんな優しく印象が変わりました」「医療に進んでみたいとますます思いました」という声を聞いて私たちもうれしかったです。看護師希望だけでなく、医療業界に興味を持っている高校生もあり、この「ふれあい看護体験」が将来の糧になることを期待します。

6時間30分という短い時間でしたが、無事に終了しほっとしています。高校生たちの熱い思いは私たちにとても良い刺激となりました。来年も感染対策を行いつつ、楽しい「看護体験」が行えるように企画していきます！



つくし花火大会



療育指導室 児童指導員
中島 章勝

今年度のつくし花火大会は、各病棟で日を設けてテラスや北側外付近で花火を実施し、利用者さんは部屋から窓越しやタブレットを通じて綺麗な花火を観覧することができました。

花火大会前日は北病棟や中病棟は生憎の雨模様で実施できるか心配されましたが、当日は午前中から療育指導室スタッフが仕掛け花火や環境等の準備を行い、なんとか実施できる運びとなりました。花火種目はナイアガラと手持ち花火がメインです。ナイアガラは毎回取り入れている定番花火で、火の粉が滝のように綺麗に流れていく瞬間が見ごろです。手持ち花火は、5色に色が変わる花火、夏をイメージした色のトロピカルスパーク、すすきのような長い花火、星の形をした線香花火等、色々なタイプの花火を用意しました。

当日は18時30分頃になると少し夕日が沈み出しますが、外はまだ明るいので、まずお楽しみの花火師によるパフォーマンスを行います。児童指導員や保育士が

ミッキーやミニーの衣装を身に纏い、今流行りの「ジャンボリミッキー」の曲に合わせてダンスを披露しました。明るい陽気なリズムに乗りながら軽快に手や足を動かすと、見ていた利用者さんも一緒に声を出し身体を動かしてくれます。各部屋を周っている内にすっかり外は暗くなり、いよいよ花火の開始です。ナイアガラは1本1本火が付くと花火が滝のように下へ流れて「わあ! 綺麗!」と歓声が上がっていました。手持ち花火は、緑や赤、青、黄色等様々に変化しながら夜のテラスや窓外に舞うと幻想的で利用者さんや看護師スタッフも思わず見とれていました。線香花火も綺麗でゆったり長く光っていたのが印象的でした。

今回は打上げ花火や噴上げ花火等、派手な花火はありませんでしたが、1本1本じっくりと眺めることができた花火大会だったと思います。引き続き皆さんに喜んで頂けるような花火大会を計画していきます。



感染管理室だより

インフルエンザの 感染対策



感染管理室
河村 ひとみ

季節性インフルエンザは、例年 11 ～ 12 月に流行が始まり、1 ～ 3 月にピークを迎え、春には下火になると言われています。全国約 5 千カ所の定点医療機関から報告された季節性インフルエンザの患者数が、1 医療機関あたり「1 人」を超すと「流行」とされています。今年、令和 4 年 12 月に流行期入りして以降、流行が継続したまま次のシーズンに入ったと厚生労働省が 9 月 8 日に発表しました。高知県感染症発生動向調査 2023 年第 36 週（9 月 4 日～9 月 10 日）¹⁾でも、「県内では、令和 5 年第 1 週（1 月 2 日～8 日）に流行期入りし、第 5 週（1 月 30 日～2 月 5 日）に定点当たりの報告数 11.78 のピークとなり、以降令和 5 年第 28 週（7 月 10 日～16 日）までの期間、インフルエンザの流行の目安とされている 1.00 以上でした。第 33 週（8 月 14 日～20 日）に再度増加に転じ、新シーズンの始まりである第 36 週（9 月 4 日～10 日）に定点当たり報告数が 3.11（報告人数：137 人）と 1.00 を超え、流行期入りしました」と報告されています。

インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみのときに発生する飛沫による飛沫感染です。また、咳やくしゃみのときに発生した飛沫が付着した環境や手からの接触感染もあります。そのため、感染予防のため咳エチケットと手洗いが重要です。以下のことに心がけて、インフルエンザの予防をしてください。

●咳エチケット

咳やくしゃみをするときは、他の人に向かって発しないようにしましょう。

咳やくしゃみがあるときは、マスクをしましょう（口と鼻をしっかりと覆っておくことが大切です）。

手で咳やくしゃみを受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。

●手洗い

感染予防のためには大変重要です。特に外出をした後など、こまめに手洗い（アルコール手指消毒薬も可）をしましょう。

●その他

バランスの良い食事や十分な睡眠、休養をとり、身体の抵抗力を高め体調を整えましょう。

部屋の湿度は 50 ～ 60% に保つと効果的です。

インフルエンザが疑われるときには、外出は出来るだけ控えましょう。外出時はなるべく人ごみを避けましょう。

ワクチンを接種しましょう。

¹⁾ 高知県感染症発生動向調査 2023 年第 36 週（9 月 4 日～9 月 10 日）

医療安全管理室だより

5S活動報告を終えて

医療安全管理室
濱口 かおり

当院では医療安全活動として5Sに取り組んでいます。

5Sは、各職場において徹底すべき5つの項目、「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰（しつけ）」によって定義されています。そして、それらの5つの項目をローマ字で記述した際の頭文字が「S」であることが、5Sの名前の由来です。

この3か月間で各職場内の5Sに取り組むことができました。いろいろな無駄がなくなり、各職場の課題解決が進みました。

最近拝読した本の中に建築デザインの専門家が施設環境から考える医療安全について語られていました。患者環境も超高齢化が進み色々なリスクが上がっている。患者さんの環境また、職員の作業環境を整

えることが、危険リスクの回避ができる事が書かれていました。まさに5Sで部署の色々な環境を整えることがインシデントの減少に繋がると思います。今年度も参加部署21部署、その活動報告は成果を称えるために投票しました。

今年度の優勝部署は栄養管理室です。なんと3連覇達成でした！準優勝は5北病棟、3位は1北病棟でした。参加した全職員の医療安全に対する思い、取り組み内容をより多くの方々に知って頂ければ幸いです。今年度も5S活動へのご協力ありがとうございました。投票結果上位3位までを院内エントランスホールで継続し掲示しています。

来院の際にはぜひご覧ください。

2023年度 5S活動報告 投票結果上位3部署はこちら

優勝（栄養管理室）

1



準優勝（5北）

2



3位（1北）

3



看護学校だより

さまざまな経験を通して 成長している学生にエールを!!



看護学校 露口 絵美

1年生(第61期生)

10月13日にある第18回ウィルセレモニーに向け準備しています。学生は、ナイチンゲール誓詞や戴帽式の歴史・灯の意味、看護専門職業人とは何かについてグループで話し合いを重ね、自分たちの今の課題にも気づくことができました。これまでの学びを振り返り、話し合うことで目指すべき看護師像や看護実践者としての責務を自覚し、先日ウィルセレモニーに向けて発表会を行いました。本番のウィルセレモニーでは、第61期生全員が思いを1つにし、今後看護をどのように学んでいくのか、自分達の目標を見据え、さらに看護を深く学んでいく決意を新たにしてくれることを願い、学生達と引き続きセレモニーの準備をしていきます。

～ウィルセレモニーに向けての発表会の様子～



2年生(第60期生)

9月5日から、看護の視点でみる実習に10日間臨みました。学生は、久々の実習に緊張しながらも、対象にとっての健康回復の意味を考えながら、その方に必要な日常生活援助の実践に向けて積極的に取り組んでいました。その経験より、対象者をあらゆる視点から理解し、対象者に合った看護を実践するためには、まず対象者に心から関心を寄せ、感情や反応を読み取りながら事実を正確に観察・解釈していく過程が重要であることに気づいています。2年生は、これから本格的な実習に臨んでいきます。あらゆる対象と関わる中で看護の思考をさらに深め、確実な知識と技術の習得とともに、自己の看護観を豊かにしていってほしいと思います。

～病棟でのカンファレンスの様子～



3年生(第59期生)

看護技術統合・演習の授業では、事例を通して点滴静脈内注射を行う対象の看護を学んでいるところです。また、9月25日より領域別実習の9R目、10月23日からは10R目が開始となり、看護学生としての学びを総まとめする時期に入ってきました。学生には、正しい知識と確実な技術の習得に加え、倫理的配慮のある看護とは何かを考えながら、柔軟に対象の状況に合わせた看護を学んでもらいたいと思います。そして、来年4月からは臨床で働くことを学生1人ひとりが自覚し、責任ある行動がとれる看護実践者に成長してくれることを期待しています。

～点滴静脈内注射の技術練習の様子～



地域医療連携室だより



看護師長
森本 純子

清々しい秋の気配が感じられる季節になりました。あっという間に今年度も前期が終わろうとしています。後期は地域の皆様に向けた病診連携フォーラムや市民公開講座等、月2回ペースで企画しております。コロナ禍においてはweb中心の研修でしたが、今後は

webと集合のどちらでも参加しやすいように計画しています。また、看護や介護職の方を対象に現場でも参考にできるような具体的な実践内容を取り入れた研修も盛り込んでみました。ぜひ、皆様の参加をお待ちしております。

療養型医療施設や介護施設の看護・介護にかかわる皆様を対象に感染対策について2回シリーズで開催いたします。

1回目：令和5年10月12日（木）18:30～19:30

テーマ：標準予防策・おむつ交換（実践編）

2回目：令和5年12月7日（木）18:30～19:30

テーマ：標準予防策・実践編あり（内容検討中）

● 場所：国立病院機構高知病院 2F 地域医療研修センター

● 講師：感染看護認定看護師 高木さくら・河村ひとみ

第181回 高知病院連携フォーラム（ハイブリッド研修）

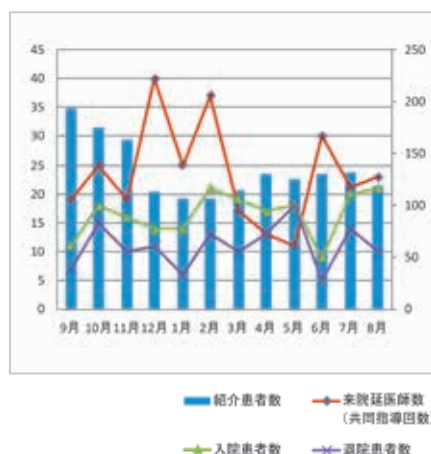
日時：令和5年10月24日（火）18:00～19:00

テーマ：耳鼻咽喉科で扱うアレルギー疾患

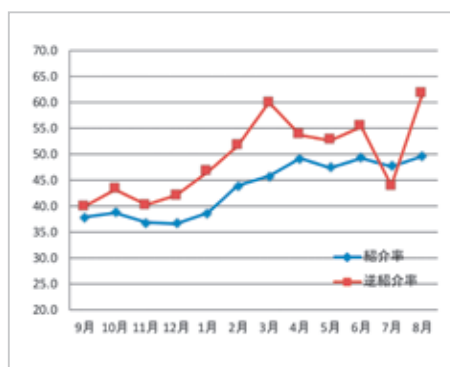
- 座長／救急部長 福山充俊 ● 講師／耳鼻咽喉科医長 福田潤弥 ● 場所／国立病院機構高知病院 3F 教室1
※ Web で参加ご希望の方はホームページからも入れます

高知病院地域連携等概況

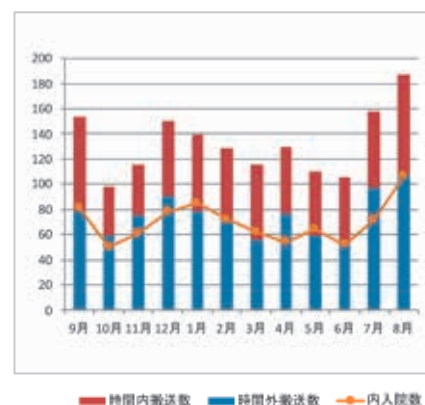
オープンシステム利用状況



紹介率・逆紹介率



救急搬送受診者数



外来診療担当医表

(令和5年10月1日現在)

■受付時間 8:15～11:00
■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構

高知病院

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
<https://kochi.hosp.go.jp/>



高知病院の
シンボルマーク

診療科	区分・診察室番号			月	火	水	木	金
内科	午前	1 診	⑧・⑪		小松 直樹		篠原(第1・第3週) 竹内(第2・第4週)	
		特別外来	⑩		岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)	
	午後	専門外来	⑥			化学物質過敏症(予約制)		
神経内科			⑫	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1 診	⑧	岡野 義夫	竹内 栄治	畠山 暢生	竹内 栄治	門田 直樹
		2 診	⑥		松村 有悟	市原 聖也	町田 久典	
			⑫					畠山 暢生
	午後	専門外来					禁煙外来 14:00～15:30(予約制)	
消化器内科	午前		⑨	林 広茂	池田 敬洋	高橋 早代	矢野 庄悟	池田 敬洋
循環器内科	午前		⑦	山崎 隆志	西村 直己	伊藤 いづみ(第2・4水曜)	山崎 隆志	
			⑥					古川 敦子
	午後		⑦			伊藤 いづみ (第2・4水曜) 受付16:00まで	ペースメーカー (第2木曜)	
リウマチ科			⑩	松森 昭憲				松森 昭憲
小児科	午前	1 診	①	大石 尚文		齊藤 晃士	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文
		2 診	②	佐藤 哲也	高橋 一平	佐藤 哲也	前田 明彦	高橋 芳夫
		3 診	③	高橋 一平	小林 希	小倉 由紀子 (アレルギー)	第3週 医大医師 (神経)	前田 明彦
	午後	専門外来 (予約制)		大石 尚文	小倉 由紀子 (アレルギー)	佐藤 哲也 (乳健・他)	小倉 英郎 (アレルギー・化学物質)	大石 尚文 (乳健・他)
				小倉 由紀子 (アレルギー)	佐藤 哲也 (院外出生乳健・他)	高橋 一平 (乳健・未熟児)	高橋 芳夫 (未熟児)	前田 明彦 (乳健・他)
				第1週 医大医師(神経)		小林 希(検診・予防接種)	小倉 由紀子(アレルギー)	
				第2・4週 医大医師(循環器)				
		予防接種		14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)	14:00～16:00(予約制)
外科 消化器外科 小児外科	午前		⑤・⑥	東島 潤	福山 充俊 (クーポンがん検診)	福山 充俊	石川 大地 (クーポンがん検診)	金本 真美 (肝臓・胆道・脾臓外来)
	午後	専門外来	⑤		福山 充俊 (乳腺外来)			
呼吸器外科	午前		⑧		先山 正二		先山 正二	先山 正二(予約制)
			⑦		日野 弘之		日野 弘之	
乳腺科	午前		⑤	本田 純子 (クーポンがん検診)		本田 純子 (クーポンがん検診)		
	午後		⑤			本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)		本田 純子 受付15:30まで(クーポンがん検診)
整形外科	午前		①	福田 昇司(予約制)		福田 雄介	福田 昇司	川真田 純
			②	福田 雄介				
	午後		⑧				田村 竜也 (予約制)	
脳神経外科	午前	1 診	⑧			非常勤 診察時間 9:00～11:00(予約制) 予約外の方はお問い合わせ下さい		
	午後		⑧					非常勤 受付16:00まで
皮膚科	午前		⑬	石元 達士	石元 達士	石元 達士	石元 達士	石元 達士
			⑫			中島 英貴(第1・3水曜)		
泌尿器科	午前	1 診	⑨	大河内 寿夫	葺石 陽亮	大河内 寿夫		大河内 寿夫
		2 診	⑦					葺石 陽亮 診察開始 10:00～
産科	午前		③⑤	滝川 稚也	滝川 稚也	野口 拓樹 1ヶ月検診	木下 宏実	甲斐 由佳
婦人科	午前		③①	木下 宏実 (クーポンがん検診)	甲斐 由佳 (クーポンがん検診)	木下 宏実 (クーポンがん検診)	滝川 稚也 (クーポンがん検診)	野口 拓樹 (クーポンがん検診)
	午後							思春期外来(予約制)
眼科	午前		②③	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子	戸田 祐子(予約制)	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前		⑬⑥	福田(潤)・矢野	福田(潤)・矢野	福田(潤)・矢野	福田(潤)・矢野	福田(潤)・矢野
放射線科				塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文	塩田 博文

※ 市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日 外科外来／乳腺科外来にて行っています。診察も希望される場合は事前に外来までお問い合わせください。
※ 当日の受付は午前11:00までとなっております。